

服田集

梅川吉次郎

T1A1

28

Sh 31

日本地誌略卷之一

總論

我日本國ハ、亞細亞洲ノ東部ニ位セル帝國ニレ
テ、中央ノ大地ヲ本州トシ、其餘四大島ト數千ノ
島嶼ヲ合セテ、一國ノ形勢ヲナス。
本州ノ地ハ最大ナリ、其西南ノ二大島ヲ四國、九
州トシ、北ノ二大島ヲ北海道、樺太トス、其他ノ島
嶼ハ、壹岐、對馬、淡路、隱岐、佐渡、千島、琉球等ナリ。
全國ノ形ハ東北ヨリ、斜ニ西南ニ延ク、其長廿、凡
七百餘里、幅員二萬三千七百三十方里アリ。

東南ハ太平洋ニ面シ、西北ハ支那海、日本海ヲ隔
テ、清國、朝鮮、及滿州ト相對シ、樺太ハ北隅ニ在
リ、魯西亞ト界ヲ交ヘ、琉球ハ西南隅ニ在リ、
臺灣島ト相望ム、
全國ヲ大別シテ、畿内、八道トシ、又此八道ヲ別チ
ス、八十四國トシ、更ニコレヲ小別シテ、七百十八
郡トス、其人口凡三千三百十六萬九千八百、歳入
三千百六十七萬六千四百石、
畿内 五國 山城 大和 河内 和泉 攝津
東海道 十五國 伊賀 伊勢 志摩 尾張 參河

遠江 駿河 甲斐 伊豆 相模 武藏 安房
上總 下總 常陸
東山道 十三國 近江 美濃 飛驒 信濃 上野
下野 磐城 岩代 陸前 陸中 陸奥 羽後
前 羽後
北陸道 七國 若狹 越前 加賀 能登 越中
越後 佐渡
山陰道 八國 丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆
出雲 石見 隱岐
山陽道 八國 播磨 美作 備前 備中 備後

安藝 周防 長門

南海道 六國 紀伊 淡路 阿波 讚岐 伊豫

土佐

西海道 十一國 筑前 筑後 豐前 豐後 肥前

肥後 日向 大隅 薩摩 壹岐 對馬

北海道 十一國 渡島 後志 石狩 天鹽 北見

膽振 日高 十勝 釧路 根室 千島

畿内 五國

山城國

東南ハ、近江、伊賀、大和ニ接シ、西北ハ、河内、攝津、丹

波ニ界シ、連山三面ヲ圍ミ、中間ヨリ南方ニ通シ

テ、地勢較平坦ナリ、乙訓、葛野、愛宕、紀伊、宇治、久世

綴喜、和樂ノ八郡アリ、

比叡山ハ、京都ノ東北隅ニ聳エ、近江ニ跨ガレ、其

山脈南ニ亘リテ、伊賀、大和ノ境ナル、鷲峰、笠置ノ

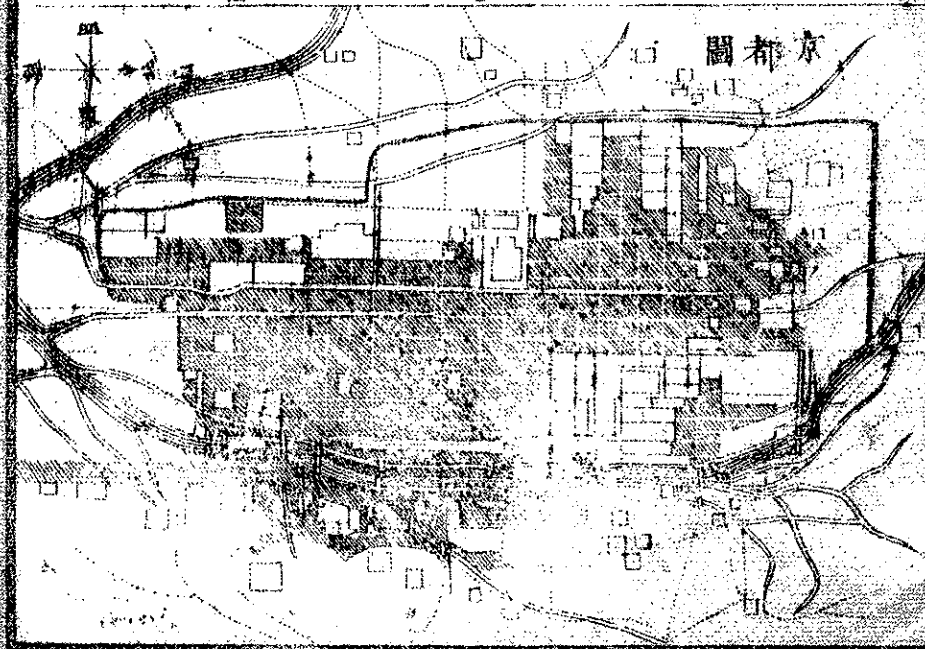
諸山ニ連レリ、

愛宕山ハ、京都ノ西北隅ニ在リ、丹波ニ亘レル

高山ナリ、高雄山、嵐山ノ諸山、其麓ニ連リテ、山勢
南方ニ赴ケリ、
鞍馬山ハ、京都ノ正北ニ當リテ、比叡、愛宕兩山ノ
間ニ位ス、其後ニ峙テルヲ、大悲山トス、
宇治川ハ、源ヲ近江ノ琵琶湖ヨリ發シ、宇治ニ至
リテ、漸ク大河トナリ、紀伊、久世兩郡ノ界ニ伏見ヲ
過ギテ、淀川トナレ、
桂川又大ハ、丹波ヨリ來リ、愛宕ノ麓ヲ過ギテ、高
雄川ヲ併ギ、嵐山ニ沿ヒテ南ニ流レ、久我ニ至リ、
鴨川ヲ併セテ、淀川ニ入ル、

加茂川或鴨川ニ作ルハ、三源アリ、一ハ、百井峠ヨリ出テ、
テ、大原、八瀬及高野ヲ過ギ、至ル所、皆其地ヲ以テ、
稱セラレ、一ハ、小鹽山ヨリ出テ、鞍馬、貴船ヲ過
ギ、至ル所、亦其地ヲ以テ稱セラレ、一ハ、丹波ノ界
ヨリ出テ、東流シテ、中津川ト云ヒ、貴船川ヲ併セ
テ、加茂ニ至リテ、高野川ト相會シ、南流シテ、京都
ヲ貫キ、鳥羽ニ至リテ、桂川ニ入ル、
長田川ハ、伊賀ヨリ來リ、名張川ハ、大和ヨリ來リ、
二流、笠置山ノ麓ニ會シテ、木津川トナリ、曲流シ、
テ、此ニ赴キ、淀ニ至リテ、桂川、宇治川ノ二流ト相

合シ一大河トナル、是ヲ
 淀川ト云フ、西流シテ、攝
 津河内ノ間ニ入ル、
 京都ハ平安城ト稱シ、
 日本三府ノ其一ニシ
 テ、延暦年間ヨリノ帝
 京ナリ、昔ハ左京右京
 ヲ分テ九條ノ大路ヲ
 通レテ皇居其北ニ位
 シ、規模宏大ナリレガ、



今ハ唯左京ノミナレトモ、尚舊規ヲ存シテ、街
 衢端正ニ、道路網通シ、加茂川ヲ以テ、其内外ヲ
 分チ、西ヲ洛中ト云ヒ、東ヲ洛外ト云フ、架スル
 ニ、荒神只三條、西條、五條ノ、四大橋ヲ以テス、洛
 外ハ、西ニ嵐山アリ、東ニ祇園清水等アリテ、公
 園トス、山水明媚風色絶佳ナリ、
 伏見ハ、京都ヲ距ルコト、僅ニ三里ニシテ、殷賑
 ヲ以テ名アリ、市街ハ、淀川ニ臨ミテ、東西往来
 ノ要路ニ當リ、運輸ニ便ナリ、

物産ハ、白川石宇治茶鴨川鯨、西陣織、清水焼、松茸、

菰、蕪、水菜、糸物、漆器、針、扇等ナリ、

大和國

東南ハ伊賀、伊勢、紀伊ニ界ト、西北ハ河内、山城ニ接ス、添上、添下、平群、廣瀬、葛上、葛下、忍海、宇智、宇陀、城上、城下、高市、十市、山邊、吉野ノ十五郡アリ、南部半國ハ吉野郡ニ屬ス、郡中皆山ニレテ、紀伊ノ境ニ至レハ、重嶺幽谷、人跡ナシ、國ノ北部ハ連山東西ニ限リ、中間ノ地ハ平遠ニレテ、岡陵處々ニ起伏セリ、金峰山ハ吉野郡ニ聳エタル高山ニレテ、太臺原

山ニレテ一次グ、其原ヲ南中北ノ三ニ分ツ、南ハ紀伊ニ連リ、東ハ伊勢、伊賀ニ跨ガレリ、

國見、高見、天岳諸山ハ、太臺原山ノ東北ニ屏列シ、伊賀、伊勢ノ境ヲ擁ム、

葛城一上、信貴、生駒ノ諸山ハ、西ニ連リテ、河内ノ國境ニ綿亘ス、

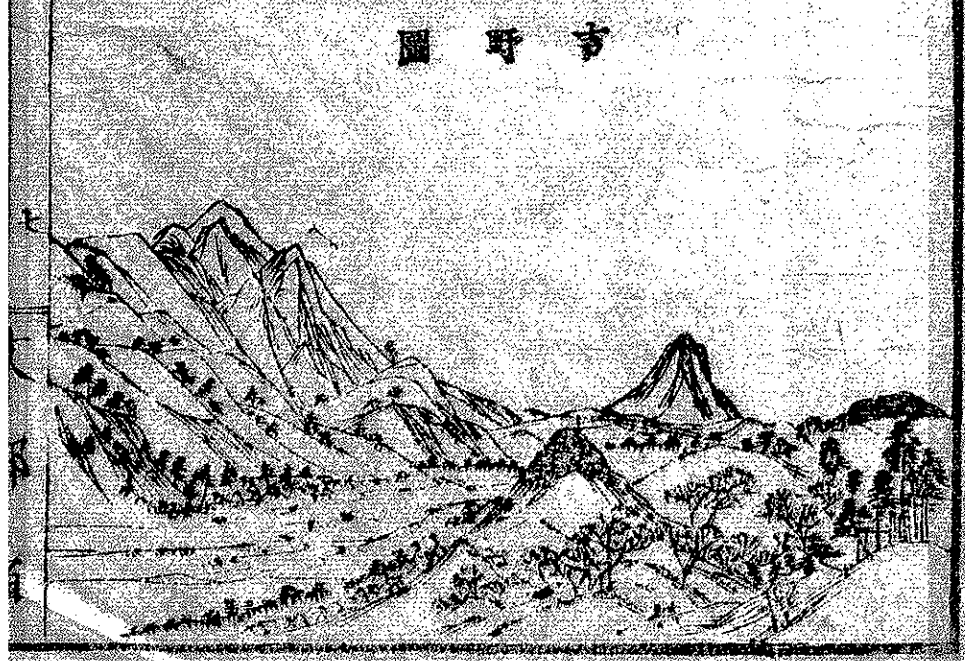
天川ハ金峰山ヨリ發シ、山間ヲ曲流シテ、十津川トナリ、南ニ赴キ、深谷間ノ衆流ヲ併キ、紀伊ニ入リテ、新宮川トナル、

吉野川ハ、太臺原山ヨリ出デ、國中ヲ貫キ、西流

初瀬川ハ、國ノ中央ノ諸川ヲ聚メ、長谷、三輪ヲ歷
 テ西流シ、二階堂ニ至リテ、奈良川、相川、廣瀬川ト
 會ヒ、更ニ龍田川ヲ併セテ、河内ニ入リ、大和川ト
 ナル。
 奈良川ハ、山城ノ北境ヨリ發シ、衆流ヲ併セテ、余
 良郡山ヲ過ギ、南流シテ、初瀬川ニ會ス。相川及廣
 瀬川ハ、國ノ西境ヨリ發シ、北流シテ、亦初瀬川ニ
 會ス。
 黒田川ハ、東境ノ諸水ヲ集メ、東流シテ、伊賀ニ入

リ、名張川ニ會シ、更ニ
 北ニ流ス。
 奈良ハ、又平城ニ作リ、
 或ハ南都ト稱ス。元明
 帝以下七代、七十餘年
 間ノ帝京ニシテ、市街
 今猶舊模ヲ存セリ。春
 日山、其東ニ峙テ、奈良
 川其西ヲ流シ、舊西大
 寺興福寺等ノ大伽藍

圖野市



アリシカ、今ハ東大寺ノミ存シ、其金銅佛ハ世ニ奈良ノ大佛ト稱セテ、聖武帝ノ建立ナリ、其
他舊蹟尚多シ、

吉野山ハ、吉野川ノ南岸ニ在リ、滿山皆櫻樹ニ
シテ、花時ノ風景最美ナリ、此山ハ、後醍醐帝、

一、南朝三世、五十餘年ノ行在所ナリ、

此國ハ、神武帝基業ノ地ニシテ、歷朝ノ皇居四十

山陵三十處々ニ散在セリ、

物産ハ、吉野葛、吉野紙、奈良晒、墨、木綿、雜草、漆、

木材、銅、水晶等ナリ、

河内國

東南ハ、山城、大和、紀伊ニ接シ、西北ハ、和泉、攝津ニ

界ス、錦部、石川、古市、安宿、大縣、高安、河内、讚良、茨田

交野、若江、菟川、志紀、丹南、丹北、八上ノ十六郡ナリ、

東南ハ、群山連亘シ、西南ハ、地勢平行ナリ、

金剛山大和城山ト云フハ、東南隅ニ峙テ、ハ高山ニ

シテ、此ヨリ山脈左右ニ分レテ、其北ニ赴ク者ハ、

二上、信貴大和出ヅ、部ノ連山ナリ、西ニ赴ク者ハ、十

早岐、紀見、峠及、岩湧、天野ノ諸山ナリ、

大和川ハ、大和ヨリ米リ、國ノ中央ヲ貫キ、西流シ

狹山地ノ下流ヲ併セ和泉攝津ノ間ニ入ル

東條川ハ金剛山ヨリ出テ西條川ハ藏王峠九重

峠ヨリ發シ二水相會シテ石川トナリ北流シテ

大和川ニ入ル

天野川ハ天野山ヨリ發シ狹山地ニ入り再出テ

北ニ赴キ大和川ニ入ル

長瀬玉串ノ兩川ハ大和川ノ分派ニシテ共ニ國

ノ西北ヲ環流シ大和ノ境ナル哮峰ヨリ出ル所

ノ寢屋川ト相會シテ西ニ赴キ攝津ニ至リテ淀

川ニ注グ天川船橋川モ亦東北隅ノ諸水ヲ集メ

テ淀川ニ入ル

淀川ハ山城ヨリ來リ國ノ北境ヲ西流シテ攝津

ニ入ル

物産ハ木綿茶煙草道明寺繭諸藥品等ナリ

和泉國

東南ハ河内紀伊ニ界シ西ハ海ニ向ヒ北ハ攝津

ニ接ス大鳥和泉泉南日根ノ四郡アリ此國ハ畿

内中ノ小國ニシテ東南ニ叡山アリ西北ノ地ハ

皆平坦ナリ

妙見槇尾牛瀧葛城大鳴雨森ノ諸山東南ニ屏列

シテ、紀伊ノ境ヲ最峻嶮ナリトス、
石津、大津、牛瀧、津田、男里、岡田等ノ川ハ皆連山ノ
間ヨリ發シ、直流シテ海ニ入ル、平時ハ、沙礫ニ
テ、唯霖雨ニ水流ヲ見ルノミ、
西ハ、淡路島ニ對シテ、一ノ内海ヲナス、コレヲ第
一海ト云フ、紀伊、攝津其南北ヲ限レリ、
大和川ハ、河内ヨリ來リテ、北境ヲ限リ、堺浦ニ至
リテ、海ニ入ル、

堺浦ハ、大和川ノ口ニ跨リ、攝津ノ境ニ在リ、古
來有名ノ港津ニシテ、昔ハ外國ノ互市場タリ、

其運漕ニ甚便ナルヲ以テ、市街猶富盛ナリ、
物産ハ、木綿、麻、布、鐵器、刀、庵刀、類、櫛、織物、米、丹、茶等
ナリ、

攝津國

東南ハ、山城、河内、和泉、及海ニ接シテ、西北ハ、播磨
丹波ニ界ス、住吉、東成、西成、島上、島下、豐島、河邊、武
庫、菟原ハ、全部有馬能勢ハ、十二郡アリ、
淀川ハ、山城ヨリ來リ、河内ノ境ニ浴ビ、西流シテ、
江口ニ至リ、一派ヲ分ク者ヲ、神崎川トス、直ニ西
流シテ、尼崎ニ至リ、海ニ入ル、正流ハ、南下シテ、長

柄ニ至リ、又一派ヲ分リ、是ヲ中津川ト云フ、即古
ノ長柄川ナリ、亦西流シテ海ニ入ル、正流ハ此ヨ
リ、更ニ西南ニ赴キ、大坂ヲ貫キテ、安治木津ノ兩
川トナリ、天保山ニ至リテ、海ニ入ル、
淀川以南ノ地ハ、平垣ニシテ、東ハ河内ニ接シ、南
ハ大和川ヲ以テ、和泉ヲ限リ、西ハ海ニ臨ム、其西
隅ヲ住吉浦ト云フ、
淀川以北ノ地ハ、岡陵相連リ、北境ニ至リテハ、其
山岳皆峻嶮ナリ、
池田山名又猪名川ハ、丹波ノ境ヨリ發シ、箕面石澄諸瀑

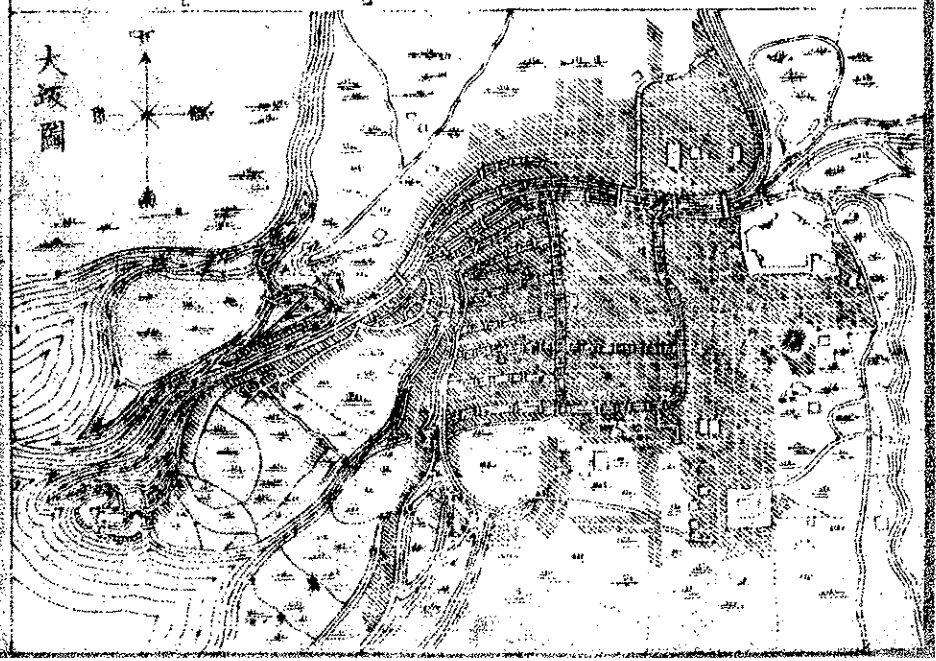
布ムノ流ノ併セテ、池田、伊丹ノ間ヲ過ギ、神崎川
ニ會シテ、海ニ入ル、
武庫、御影、摩耶、再度等ノ諸山ハ、西部郡中ニ在リ
テ、東西ニ連リ、一帯ノ山脈ヲナシテ、南ハ海ニ面
北ハ即有馬郡ナリ
有馬郡ハ、西北ノ國境ヨリ、東能勢郡ニ連リ、山嶺
起伏ス、此地ノ温泉、古ヨリ名アリ、
波豆川、有馬川ハ、二水相會シテ、有馬郡中山間ノ
諸水ヲ併セ、南流シテ、生瀬川トナリ、西宮ニ至リ
武庫ノ海ニ入ル、武庫川是ナリ、

津戸川、蘆屋川、生田川、湊川、刈藻川ノ諸水ハ源ヲ
武庫摩耶諸山人、澗谷ヨリ發シ、直流シテ海ニ入
ル、但平時ハ水流ヲ見ズ、

須磨浦ハ國ノ西隅ニ在リテ、前ハ海ヲ隔テ、淡
路島ニ對シ、後ハ鐵拐嶽、鉢伏山、鶴越等ノ諸山ヲ
負ヒ、海濱ハ、白沙青松相映シテ、西播磨ノ舞子濱
ニ連リ、風光明媚愛スベシ、古ヨリ勝地ヲ以テ稱
セラル

大坂ハ古ノ浪速ノ地ニシテ、三府ノ一ニ居ル
仁德帝ノ都址ナリ、其城ハ豐臣氏ノ建築ニシ

テ、高壁深溝ノ名アリ
レガ、今ハ唯牙城ヲ存
スルノミ、市街淀川ノ
南北ニ跨リ、其水ヲ引
キテ、東横堀、西横堀等
ノ溝渠トス、支溝ハ縱
横疎通シテ、長堀道頓
堀等トナリ、大川ノ淀川
云フニハ、架スルニ難
波、天満、天神ノ三大橋



津戸川、蘆屋川、生田川、湊川、刈藻川ノ諸水ハ源ヲ
武庫摩耶諸山人、澗谷ヨリ發シ、直流シテ海ニ入
ル、但平時ハ水流ヲ見ズ、

須磨浦ハ、國ノ西隅ニ在リテ、前ハ海ヲ隔テ、淡
路島ニ對シ、後ハ鐵拐嶽、鉢伏山、鶴越等ノ諸山ヲ
負ヒ、海濱ハ、白沙青松相映シテ、西播磨ノ舞子濱
ニ連リ、風光明媚愛スベシ、古ヨリ勝地ヲ以テ稱
セラル、

大坂ハ、古ノ浪速ノ地ニシテ、三府ノ一ニ居ル、
仁德帝ノ都址ナリ、其城ハ、豐臣氏ノ建築ニシ

テ、泊セシムベキ、外國互市場中ノ佳港ナリ、神
戶、兵庫兩地ノ市街、櫛比シ、湊川神社、福原都趾、
皆其間ニ在リ、

物産ハ、御影石、池田炭、伊丹酒、紙、鹽、油、木綿、陶器、藤
筵、檜席、真田織、一閑張、薄雪昆布等ナリ、

東海道 十五國

伊賀國

東南ハ、伊勢ニ界シ、西北ハ、大和山城近江ニ接ス、
伊賀山田、阿拜、名張ノ四郡アリ、
天岳ハ、西南ニ峙テ、伊勢大和ノ間ニ跨ガリ、其山
脈左右ニ延キテ、東ハ七見、長野、笠取等ノ諸嶺ニ
亘リテ、西ハ、黒田峠ニ連リ、山岳重疊シテ、四境ヲ
環擁シ、國中ニモ、赤目、四十八滝、赤岩尾等ノ諸
溪澗アリテ、山勢起伏シ、陵谷相連シ、
黒田川ハ、太和ヨリ来リ、北流シテ、名張川ニ入リ、

黒田峠ノ麓ニ沿ヒテ復大和ニ入ル、
長田川ハ七見嶺ヨリ出デ、西北ニ流レ、國ノ中
央ヲ貫キ、上野ノ西ニ至リテ、服部川及北川ニ會
シ、山城ニ入リテ、木津川トナル、
上野及名張ハ山間ノ一小都會ナリ、
物産ハ石炭、硫黃、磨砂、及伊賀焼ト稱スル、陶器ノ
類ナリ、

伊勢國

南ハ志摩ニ隣リ、東ハ内外ノ海ニ臨ミ、西北ハ紀
伊、大和、伊賀、近江、美濃、尾張ニ界ス、桑名、員辨、朝明、

三重、鈴鹿、河曲、奄藝、安濃、壹志、飯高、飯野、多氣、度會
ノ十三郡アリ、

雲出川ハ源ヲ尾岳ヨリ發シ、東流シテ、國ノ中央
ヲ横斷シ、全國ノ大勢ヲ分ツ、南ヲ南伊勢トシ、北
ヲ北伊勢トス、其流辛洲ノ西ニ至リテ兩派トナ
リ、内海ニ入ル、此海ヲ伊勢海ト稱ス、

南勢

壹志以下五郡

ニハ、白志、矢鐵ノ諸山西北ニ聳ニ、又

國見、大臺原山等アリテ、大和、紀伊ニ連リ、殊ニ峻
秀ナリ、

梯田川ハ、高見、國見ノ兩山ヨリ發シ、東流シテ兩

派トナリ、正流ハ、松坂ノ南ヲ過ギテ、内海ニ入ル、
支流ヲ被川ト云フ、大淀浦ニ注グ、
宮川ハ、大臺原山ヨリ出デ、東流シ、田丸ヲ過ギ、
大湊ニ至リテ、内海ニ入ル、

松坂及田丸ハ、國中最繁華ノ街市タリ、

此國ノ南境ハ、大洋ニ向ヒ、海濱ハ、嶮岨ニシテ、紀
伊ノ熊野ニ連レリ、コレヲ南島ト云フ、

朝熊山ハ、志摩ニ跨ル、高山ナリ、其東ニ二見浦
ナリ、内海ニ臨ミ、有名ノ地タリ、

北勢ハ、連山ヲ負ヒテ、内海ニ臨ム、中間ハ、地勢率

平坦ニシテ、能褒野、廣瀬野、豊久野等アリ

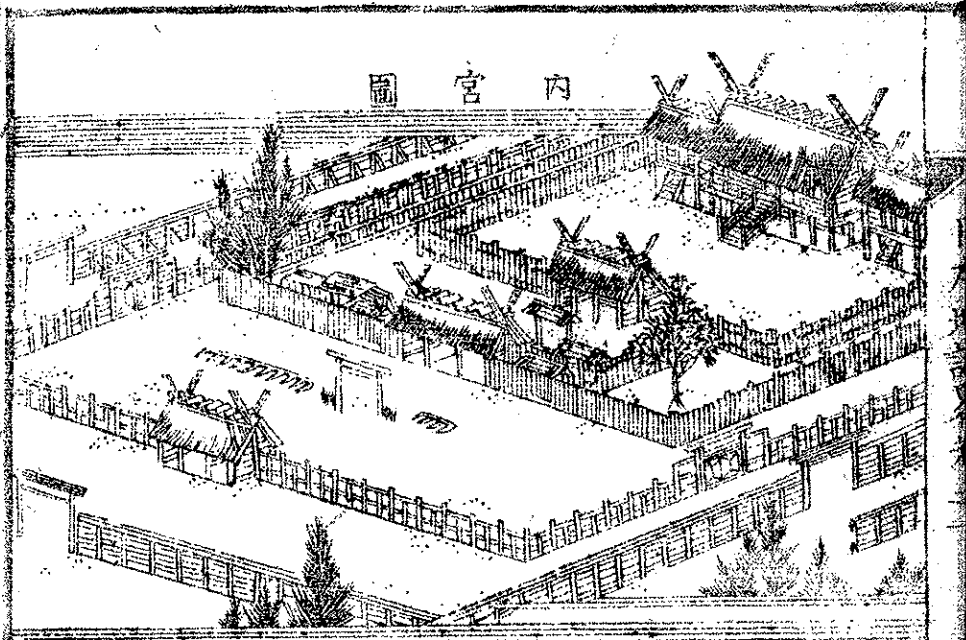
鈴鹿山西北隅ニ聳ユテ、靈山、長野峠等、其南ニ連
リ、伊賀ノ境ニ亘レリ、其前ニ、經峰アリ、

冠岳、釋迦岳、藤原岳、山脈ハ、鈴鹿山ノ北ニ列シ、
近江ノ堺ヲ限リテ、美濃ニ連レリ、

揖斐川ハ、美濃ヨリ来リ、多度山ノ麓ヲ過ギテ、木
曾川ニ入ル、

木曾川ハ、尾張ノ境ニ沿ヒ、長島ヲ抱キテ、桑名ニ
至リ、内海ニ入ル、

町屋川ハ、貞辨川ト源ヲ藤原岳ヨリ發シ、關川ハ、



鈴鹿山ヨリ出テ、皆内
 海ニ入ル、其ニ北勢ノ大
 川ナリ、
 三重川ハ冠岳ヨリ出デ
 テ、四日市ノ海ニ注グ、塔
 世川ハ經峰ヨリ發シ、安
 濃津ニ至リテ、阿漕浦ニ
 入ル、
 桑名、四日市及安濃津
 ハ北勢ノ佳港ナリ、宇

治、山田ノ二郷ハ宮川ノ南ニ在リテ州内ト稱
 ス、古市、川崎等ト街市相接シ、東ハ大湊ニ至リ、
 南ハ朝熊山ニ連ル、
 内宮天照皇大神宮ハ宇治ノ五十鈴川ノ上ニ在リ、外
 宮豐受太神宮ハ山田ニ在リ、
 物産ハ、茶、油、蠟、木綿、津綾子、漆、形紙、蝦、鮑、時雨蛤、塗
 物、煙草、菜種、鹿尾菜、銅、石炭、及萬古燒ト稱スル、陶
 器ノ類ナリ、

志摩國

北ハ伊勢ニ界シ、其他ハ海ニ臨ム、客志英虞ノ二

都アリ

此國ハ伊勢ノ南端ニ在ル、最小ノ國ニシテ、岬角海中ニ突出シ、港灣頗多シ、

麥崎ハ、最南ノ岬ニシテ、西南ハ紀伊ノ沙御崎ニ

對ス、其間ヲ熊野浦ト云フ、東ハ遠州灘ヲ隔テ、

伊豆ノ岬ト遙ニ相對ス、

御座崎ハ、西ニ出タル岬ニシテ、其灣内ヲ立神ト

云フ、海岸ハ、西ニ連リテ、伊勢ノ南島ニ亘ル、

安乘崎ハ、東ニ斗出シテ、的屋港ノ南ヲ限ル、

鳥羽ハ、的屋ノ北ニ竝ヘル港ニシテ、桃取ノ諸

島、其前ニ羅列ス、港内

水深クシテ、殊ニ泊舟

ニ宜シ、

日和山ハ、鳥羽港ノ岸ニ

聳エテ、參河ハ、伊良胡崎

ト相對シ、内海ノ口ヲナ

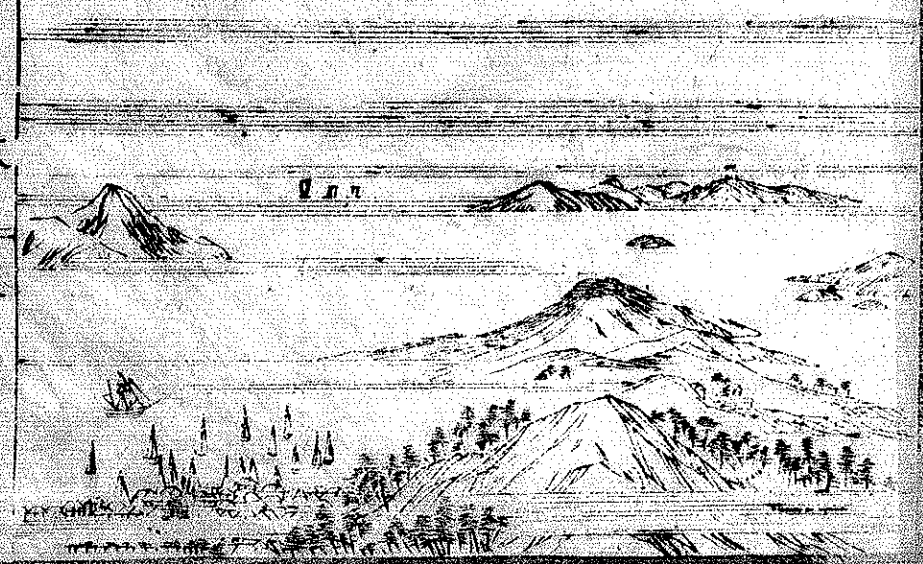
ス、

朝熊山、山伏崎等ハ、西ニ

連リテ、伊勢ノ境ヲ限レ

リ、

鳥羽港圖



池田川ハ源ヲ連山ノ間ヨリ發シ東流シテ的屋
港ニ注グ

物産ハ石花菜、鹿尾菜、荒海布、鮑、鰯、堅魚等ナリ

尾張國

東ハ參河ニ接シ南ハ内海ニ臨ニ西北ハ伊勢美濃ニ界ス知多、愛智、丹羽、春日井、海東、海西、葉栗中島ノ八郡アリ

小牧山、平野ノ中央ニ特立ス其北ニ宮山アリ
又東猿投山ニ連リ參河ノ境ヲ限レリ
繼鹿尾山、白山ハ又小牧山ノ北ニ在リ其山勢美

濃ニ亘リテ信濃ノ木曾

山ニ連シ山間ニ入鹿

池アリ

一色川ハ上流ヲ土岐川

ト云ス源ノ美濃ヨリ發

シ西流シテ内津川ヲ併

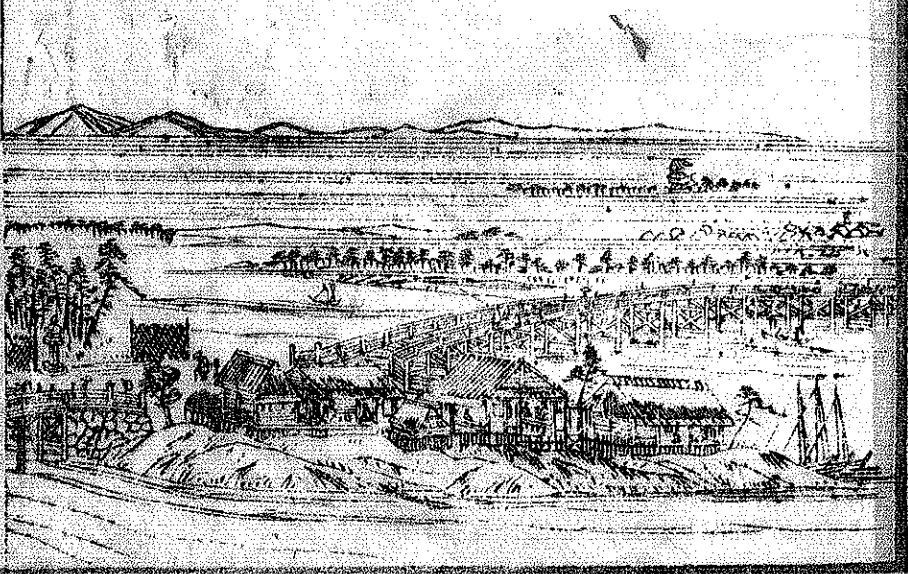
セ勝川トナリ大野木邑

ニ至リテ參河ノ境ヨリ

來レル矢田川ト相會シ

更ニ南流シテ枇杷島及

枇杷島橋圖



萬場ヲ過ギテ海ニ入ル

一色川ノ西北ハ地形平坦ニシテ美濃伊勢ニ連

リ木曾川ヲ以テ國ノ西境ヲ限レリ

木曾川ハ東流シテ犬山ニ至リ大河トナリテ分派

數派國中ヲ環流ス正流ハ國境ニ沿ヒテ更ニ南

ニ赴ク其分ル者ヲ佐屋川トシテ下流ハ復合シ

テ再數派トナリ各内海ニ入ル

蟹江日光等ノ諸水ハ即木曾川ノ分派ニシテ水

流縱横共ニ南下レテ内海ニ注グ

鳴海潟熱田潟ハ并ニ内海ノ濱ニシテ熱田ニ宮

ノ驛アリ伊勢ニ渡ルノ要津ナリ此驛ニ熱田神

宮アリテ草薙劍ヲ奉祀ス

知多郡ハ鳴海潟ノ東ニ突出セル大岬ナリ最南

ノ地ヲ幡豆崎ト云フ志摩ノ島羽ト參河ノ伊良

胡崎トハ中間ニ出デハ内海ヲ東西ニ分ク東ノ

内海ヲ衣浦ト云フ西ノ内海ハ即所謂伊勢海ニ

リ

篠島日間賀島佐久島ハ三岬ノ間ニ散在レテ地

形相近接セリ

名古屋ハ有名ノ城市ニシテ西ハ枇杷島ニ至

リ、南ハ、熱田ニ連ル、其地、東、西、兩京ノ中道ニ當
リ、海陸ノ運輸、共ニ便ナルヲ以テ、商賈富庶、其
繁華、三府ニ亞ガリ、

物産ハ、水晶、瑪瑙、絹、木綿、鳴海絨、瀬戸焼、常滑焼、大
根、酒、醋、鐵物類、海鼠腸、名古屋扇等ナリ、

參河國

東ハ、遠江ニ接シ、南ハ、海ニ臨ミ、西北ハ、尾張、美濃、
信濃ニ界ス、八名、設樂、賀茂、額田、碧海、幡豆、寶飯、渥
美ノ八郡アリ、

渥美郡ハ、東ヨリ西ニ出デタル、大岬ニレテ、大尾張

ノ知多郡ト相對シ、内海ヲ包メリ、是即、夜浦ナリ、
其西端ヲ伊良胡崎トス、志摩ト相對シ、天、伊勢、海
ノ口ヲナス、

日原山ハ、渥美郡ノ中央ニ峙テ、其南ハ、遠江灘ニ
面ス、

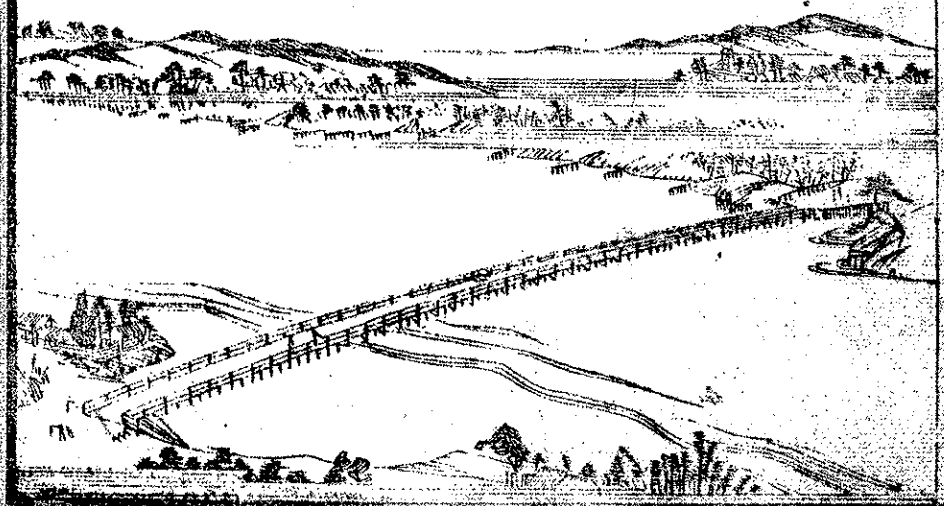
本宮岳ハ、國ノ中央ニ在リ、其東麓ハ、廣野遙ニ連
リ、豐川ノ岸ニ至ル、コレヲ本野原ト云フ、

石巻山ハ、豐川ノ東ニ聳エ、嵩瀨、鷲巢ノ諸山ト、共
ニ屏列シテ、遠江ノ境ヲ限レリ、

神田山ハ、本宮岳ノ北ニ在リ、煙巖山一名鳳山ト相

對レ、重山深嶺、其後ニ起
 伏レテ、美濃、信濃ノ境ニ
 亘ル、
 矢矧川ハ、信濃ヨリ來リ、
 北境ヲ環流シテ、足助川
 ヲ併セ、南ニ下リ、岡崎ヲ
 過ギテ、内海ニ入ル、
 大平川一名ハ、本宮川ヨ
 リ發シ、西流シテ岡崎ノ
 南ニ至リ、矢矧川ニ入ル、

岡崎城外矢矧橋圖



豐川ハ、神田山ヨリ發シ、長篠ヲ過ギ、東境ヲ環流
 シテ、吉田ニ至リ、内海ニ入ル、此三大川、竝ニ有名
 ノ流ニレテ、舊矢矧川ニ架スル所ノ橋、其長サ二
 百八間、豐川ニ架スル所ノ橋、其長サ百二十間ア
 リ、但大平川ハ、二川ニ比スレバ、較小ニレテ、其橋
 長サ五十間ニ過ギズ、
 物産ハ、紙、木綿、生糸、漆、塗物、及、砥石、硝石、雲母、蜆、白
 魚等ナリ、

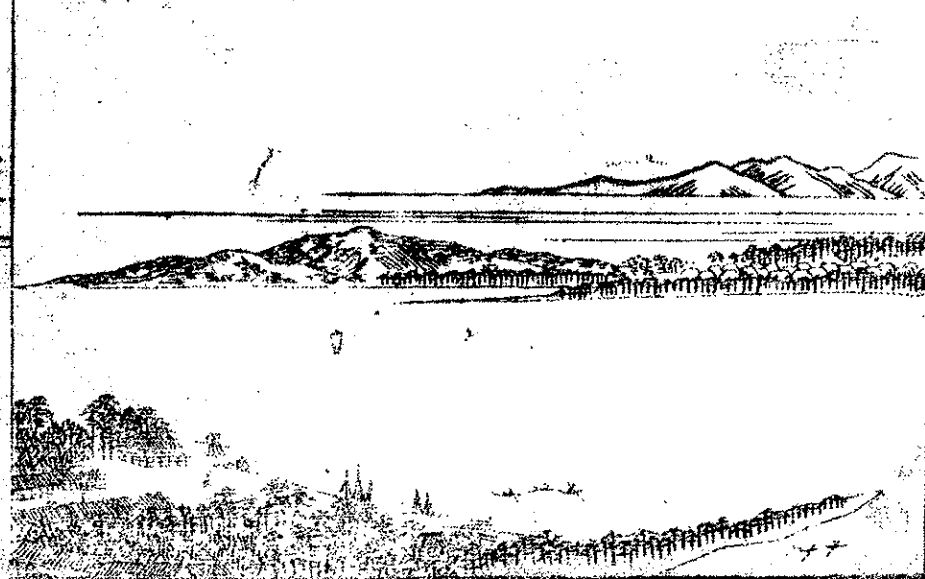
遠江國

東ハ、駿河ニ接シ、南ハ、大洋ニ臨ミ、西北ハ、參河、信

濃ニ界ス、榛原、周智、佐野、豐田、山名、城東、磐田、長上、
 鹿王、引佐、濱名、敷智ノ十三郡アリ、
 秋葉山ハ、國ノ中央ニ聳エタル、大山ニシテ、其東
 北ハ重嶺、攢峰、信濃ニ連リ、殆ド入跡ナキニ至レ
 リ、
 高天神山ハ、海濱ニ峙テル高山ナリ、其東ニ布引
 原、磐田、原ノ廣野アリ、
 御前崎^{厩崎モ云ス}ハ、釘浦ノ南端ナル岬角ニシテ、外
 洋ニ突出シ、一島、其前ニ當レリ、コレヲ沖、御崎ト
 云ハリ、海ヲ隔テ、伊豆ノ岬、及志摩ノ崎ト、東西

相對ス、水程七十五里、其
 間此國ニ當ルヲ以テ、コ
 レヲ遠州灘ト稱ス、
 天龍川ハ、信濃ヨリ來リ、
 直ニ南流シテ、秋葉山ノ
 西麓ヲ過ギ、國ノ中央ヲ
 貫キ、分レテ、大天龍、小天
 龍ノ二派トナリ、掛塚、湊
 ニ至リテ、海ニ注グ、
 大井川ハ、信濃ノ境ヨリ

濱名湖口今切圖



發シ、南流シテ、駿河ノ境ヲ畫リ、釘浦ニ至リテ、海ニ入ル、

三日野川ハ、天龍、大井兩川ノ間ヲ過ギ、大口、諸井ノ諸川ヲ併シ、南流シテ、海ニ入ル、其地ヲ福田湊ト云フ、

三方原ハ、國中第一ノ廣野ニシテ、天龍川ノ西ニ在リ、南ハ海濱ニ亘リ、而ハ濱名湖ニ連ル、即古ノ引馬野ナリ、

濱名ノ城市ハ、原中ニ在ル、小都會ナリ、濱名湖ハ、西南隅ニ在ル、大湖ナリ、東西四里、南北

五里餘、中ニ引佐細江、猪鼻湖アリ、東ハ佐鳴湖ニ通シテ、西ニ高師山峙テ、風景頗佳ナリ、古ハ湖水一條ノ川トナリ、海ニ注ギシニ、明應年中、其間々地一里餘、地震ノ為ニ陷リ、潮水互ニ通ズルニ至レリ、因リテ其地ヲ今切ト稱ス、
物産ハ、蜜柑、松茸、納豆、鮓、鰻、葛粉、木綿、葛布、塗物等ナリ、

駿河國

東ハ相模ニ接シ、南ハ伊豆及海ニ臨シ、西北ハ遠江、信濃、甲斐ニ界ス、駿東、富士、庵原、安部、志田、益頭

有度ノ七郡アリ、
富士山ハ、遠江、甲斐ニ跨リ、直立千二百丈餘日本
第一ノ高山ニシテ、四時白雪ヲ戴ケリ、
愛鷹山ハ富士山ノ前面ニ突立シ、富士沼其麓ニ
在リ、コレヨリ南、田子浦ニ至ルマデ、浮島原ト
云フ、
足柄山ハ、相模ノ境ニ亘レル高山ニシテ、富士山
ノ東ニ連レリ、
黄瀬川ハ、富士、足柄ノ山間ヨリ發シ、竹下ヲ過キ、
南流シテ沼津ニ至リ、伊豆ノ狩野川ニ合ヒテ、海

ニ入ル、
富士川ハ、甲斐ヨリ來リ、富士山ノ西麓ニ沿ヒ、南
流シテ、海ニ入ル、水勢極メテ急ナリ、
大井川ハ、信濃ノ境ヨリ出デ、遠江ノ境ニ沿ヒ、
南流シテ海ニ入ル、
富士、大井、兩川ノ間、川流極メテ多ク、皆奔流急湍
架スルニ橋ヲ以テスベカラズ、其中ニ最大ナル
者ヲ安倍川トス、
安部川ハ、甲斐ノ境ヨリ發シ、南流シテ、大井川
抱キ、静岡ヲ過ギテ海ニ入ル、

江尻川、興津川、其ニ源
 ヲ北境ヨリ發シ、南ニ赴
 キ、清見潟ニ注グ、
 清見潟ハ、田子浦ノ西濱
 ニ在リ、薩埵山北岸ニ突
 起シ、三保松原其南ニ横
 ハリ、白沙青松海面ニ斗
 出、テ、灣ヲナス、灣内ニ
 清水湊アリ、
 久能山ハ清水湊ノ西ニ

清見潟圖



靜岡、海ヲ隔テ、伊豆ノ雲見崎ト相對シ、自一大
 灣ヲナス、

靜岡ハ、舊府中ト稱ス、城市繁盛ナリ、賤機山其
 後ニ聳エ、東ハ清水湊ニ連リ、風色絶佳、運漕
 亦便ヨリ、

物産ハ、興津鯛、蒲原鮎、漆器、竹器、紙、茶、太布、竹、砥石
 蜜柑、香蓴等ナリ、

甲斐國

東南ハ、武藏相摸、駿河ニ界シ、西北ハ信濃ニ接ス、
 巨摩ハ、代山梨、都留ノ郡アリ、

全國富士山ノ陰ニ在リ、群山四境ヲ環リ、中間ハ地勢稍平坦ナリ、

金峰山ハ、北ニ聳エ、信濃ニ跨リ、雁坂峠、其東ニ峙テリ、

八岳ハ、金峰山ノ西ニ在リ、八峰突起シテ、其山脈信濃ニ連レリ、

駒嶽、白峯、鳳凰等ノ諸山ハ、西境ヲ限レル峰嶺ニシテ、深山重疊、南ニ面身延ノ諸嶺ニ亘レリ、

天目山ハ、大菩薩峠、及雁坂峠ノ南ニ峙テ、其山脈南ニ亘リテ、笹子、大石、十二岳等ノ諸嶺トナリ、富

士山ノ北麓ニ連レリ、
巨摩ハ、代山、三郡ノ水、
四方ヨリ湊注シテ、皆笛

吹、金梨ノ二川ニ入ル、笛
吹川ハ、源ヲ雁坂峠ノ西

ヨリ發シ、金梨川ハ、源ヲ
駒嶽ヨリ發シ、七里岩ノ

下ヲ過ギテ、笛吹川ト相
會ヒ、南流シテ、大河トナ

リ、急湍直下シ、鵜澤ヲ經

リ、



大日本書

其身延山ノ東麓ヲ過ギ、駿河ニ入ル、富士川是ヲ
荒川ハ金峯山ヨリ發シ、南流シテ、甲府ヲ過ギ、笛
吹川ニ入ル、
重川ハ源ヲ大菩薩峠ノ南ナハ、黒川山ヨリ發シ、
日川ハ源ヲ天目山ヨリ發シテ、同ジク、笛吹川ニ
入ル、
鹽川ハ八岳ノ水ヲ集メテ、韭崎ニ至リ、金梨川ニ
入ル、
蘆川ハ精進、本巢川口諸湖ノ伏流ヲ導キ、市川

至リテ、富士川ニ注ギ、早川ハ白峯山ヨリ發シ、身
延山下ニ至リテ、金梨川ニ入ル、
甲府ハ小都會ノ地ニシテ、市街頗繁盛ナリ、
都留郡ハ相摸一接シ、天目山ノ山脈ヲ以テ、其西
ヲ限リ、連山四周、川流皆南ニ注ギ、地形風土、別
一郷ヲ為スヲ以テ、稱シテ郡内ト云フ、
丹波川ハ郡ノ北境ヲ流シテ、武藏ニ入り、多摩川
トナル、道志川ハ南境ヨリ出デ、相摸ニ入ル、
桂川ハ山中湖ヨリ出デ、都留、花咲、諸川ヲ併
セテ、亦相摸ニ入ル、此川ニ架セル橋ヲ、猿橋ト云

下流ハ即馬入川ナリ、
物産ハ金、水晶、石炭、硯、材木、絹、紬、諸織物、梨、柑、葡萄
等ナリ、

伊豆國

北ハ相模、駿河ニ界シ、東西南ノ三面ハ海ニ臨ミ、
君澤、田方、那賀、賀茂ノ四郡アリ、
地形ハ北ヨリ南ニ延キ、海面ニ斗出セル半島國
ナリ、西ノ海ハ即遠州灘ニシテ、東ノ海ヲ相模灘
ト稱ス、

天城山ハ相模ノ箱根、足柄ニ連リテ、國ノ中央ニ

聳ユル高山ニシテ、四郡

ノ地皆其麓ノ繞レリ、

狩野川ハ天城山ノ北麓

ヨリ發シ、北流シテ北條

莊山ヲ過ギ、賀茂川ヲ併

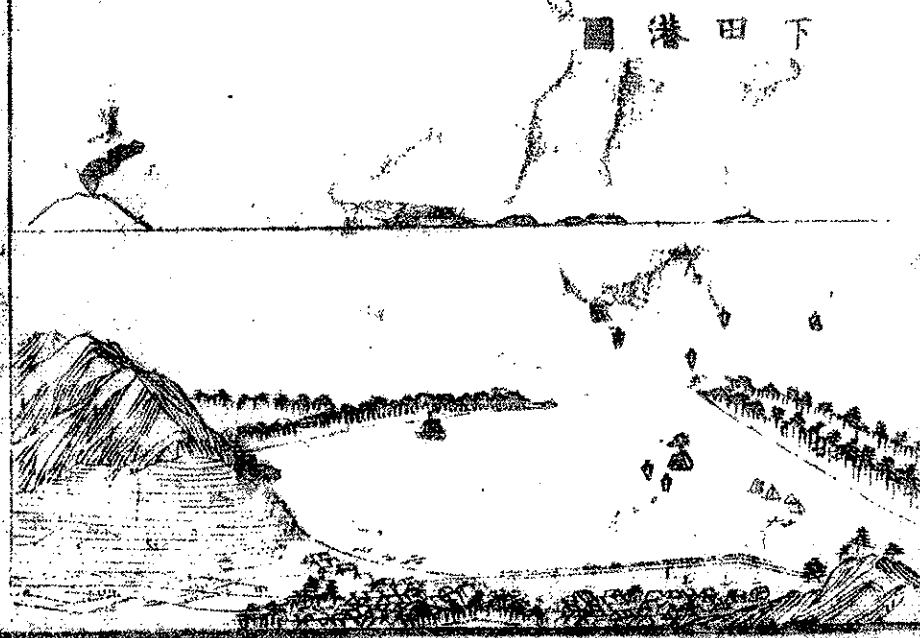
セテ、駿河ニ入ル、

河津川ハ天城山ノ南麓

ヨリ發シ、東流シテ相模

灘ニ注ク、

稻生澤川モ亦天城山ハ



南麓ヨリ出テ、南流シテ、下田港ニ入ル、
下田ハ、南端ニ在ル、一港ニレテ、小水崎其東ニ突
出シ、灣内水深ク、船舶ノ碇泊ニ便ナリ、
石廊崎ハ、最南ノ岬角ナリ、西海ヲ隔テ、遠志
摩ト相對ス、前面ニ神元島アリテ、燈臺ヲ設ケ
タリ、
雲見崎ハ、石廊崎ノ西ニ在リ、遠江ノ御前崎ト相
對ス、

江梨崎ハ、雲見崎ノ北ニ、突出シタル岬ナリ、其灣
内ハ、船舶ヲ泊スルニ宜シク、駿河ニ亘リテ、江浦ト

得ス、

熱海ハ、有名ノ温泉場ニレニ、其地相摸灘ニ臨ミ、
川名崎、其南ニ斗出シテ、海水灣ヲナシ、日金山、其
後ニ峙テ、眺望絶佳ナリ、

大島ハ、下田ノ東南十三里ニ在リ、三原山高ク聳
エテ、常ニ硫烟ヲ噴ク、

新島ハ、大島ノ南十里ニ在リ、島中ニ、宮塚山、向山
ノ二峰アリ、利島式根島、此ニ屬ス

神津島ハ、新島ノ正南八里ニ在リ、天井山高ク聳
エテ、全峰白沙ヲ積メルガ如シ、

三宅島ハ神津島ノ東南十里ニ在リ、島中ニ噴火
山アリ、コレヲ雄山ト云フ、三倉島此ニ屬ス、
以上ヲ伊豆ノ七島ト稱ス、
八丈島ハ七島ノ正南ニ在リ、下田ヨリ九十里島中ニ
東山、西山アリテ、西山最高シ、小島青島此ニ屬ス、
小笠原島一名無名島ハ太平洋中ニ羅列セラル群島ニ
シテ、其數大小八十九アリ、八丈島ヲ距ハル北島南
島殊ニ大ナリ、
物産ハ金、硫黄、小松原石、磐城石、八丈絹、樟、黄楊諸
材、薪炭、雁皮紙、椿油、堅魚、鰻、鮑、鰕、及香蕈、山葵、海苔

石花菜等ナリ、

相模國

南ハ外洋ニ臨ミ、東ハ内海ニ接レ、西北ハ伊豆駿
河、甲斐武藏ニ界ス、足柄上、足柄下、津久井、愛甲、大
住、陶、綾、高座、鎌倉、三浦ノ九郡アリ
三浦郡ハ、東南隅ヨリ海中ニ突出セル、一大岬ニ
シテ、其端ヲ三崎ト云フ、城島其前ニ當リ、此ヲ以
ニ海ノ内外ヲ分チ、東ハ安房ト相對シ、内海ノ
口ヲ扼シ、西ハ伊豆ニ向テ、此海即相模灘ナリ、
蒲賀ハ、内海ニ臨ミ、佳港ニシテ、觀音崎、横須賀

灣其東北岸ニ連レリ、
 鎌倉ハ三崎ノ西北ニ在
 リテ、外洋ニ面ス、西ニ稻
 村、崎江、島アリ、此地ハ源
 賴朝以來世々ノ霸府址
 ニシテ、古蹟多シ、
 雨降山ハ世ニ大ニ
 中央ニ位セシ、高山ニ
 テ、山脈其後ニ連リ、武藏
 甲斐ニ接ス、

馬入川ヨリ雨降山ヲ望ム



足柄山ハ駿河ノ境ニ連レハ、高嶺ニシテ、山脈南
 ニ亘リ、箱根山ニ至ル、
 箱根山ハ北足柄山ニ連リテ、伊豆ノ境ヲ擁ス、山
 上ニ湖水アリテ、蘆畑ト稱ス、下流北ニ赴キ、復南
 下シテ小田原ヲ過キ、海ニ入ル、コレヲ早川ト云
 フ、早川ノ南岸ニ沿ヒテ、温泉所々ニ沸キ出ツル
 ヲ、箱根七湯ト云フ、
 桂川及道志川ハ甲斐ヨリ來リ、相會レテ、馬入川
 トナリ、環流シテ、南ニ赴キ、外洋ニ入ル、此川國中
 ノ最タルヲ以テ、或ハ呼ビテ、相模川ト云フ、

金目川ハ兩降山ノ溪流ヲ集メ南下シテ大磯ニ
注ク花水川是ナリ酒匂川ハ足柄山ヨリ發シ南
流シテ小田原ノ東ニ至リ海ニ入ル
花水酒匂兩川海ニ入ル所ノ間ヲ古ハ小餘綾磯
ト云フ外洋ニ臨メル沙濱ニシテ風色極ノテ佳
ナリ
物産ハ堅魚章魚蝦湯本細工貝細工小田原梅干
鹽辛水飴山椒魚紅花根府川石等ナリ

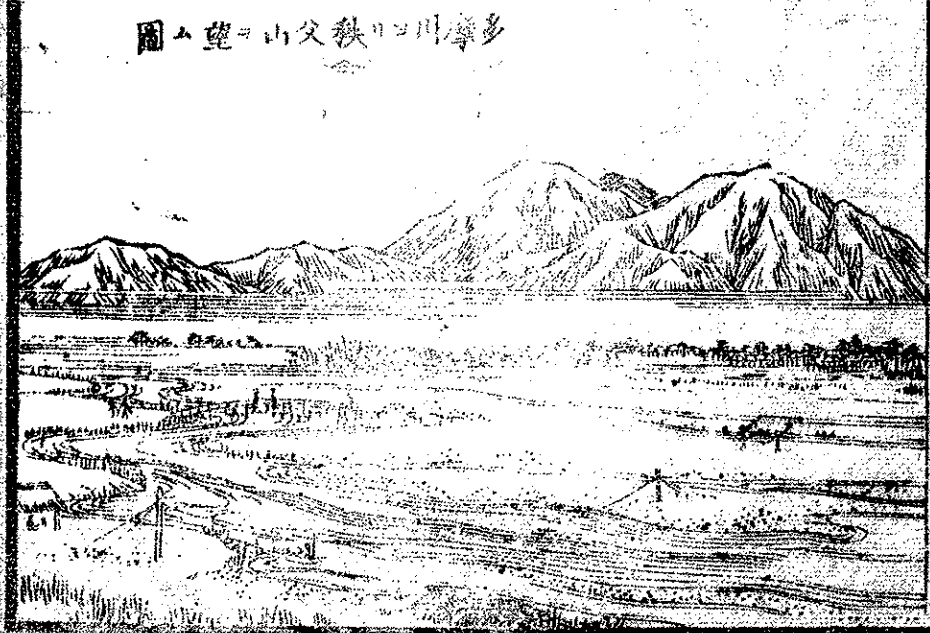
武藏國

東南ハ下總相摸及内海ニ接シ西北ハ甲斐信濃

上野ニ界ス秩父多摩高麗兒玉加美那賀榛澤幡
羅男衾比企大里横見入間新座埼玉足立葛飾豐
島荏原都筑橘樹久良岐ノ二十二郡ナリ
武甲三峰ノ諸山ハ正面ニ峙チ峯嶺相重リテ國
境ヲ擁ス總テコレヲ秩父山ト云フ
多摩川或ハ玉川ニ作ルハ甲斐ヨリ來リ秩父山ノ南ヲ
過ギ東流シテ羽田ニ至リ内海ニ入ル
多摩川以南ノ地ハ岡陵起伏シ山勢相重リテ甲
斐相摸ニ連ル甲斐ノ境ニ小佛峠ノ坂路アリ
荒川ハ信濃ノ境ヨリ發シ秩父山ノ北ヲ過ギ屈

曲シテ東ニ赴ク其下流
ヲ隅田川ト云フ
武蔵野ハ多摩川荒川ハ
間ニ在リテ西ハ秩父山
ヲ限リ東ハ内海ニ至ル
昔時ハ廣漠ノ荒原ナリ
レガ今ハ田畝開ケ村市
相連レリ
入間川高麗川ハ廣野ノ
間ヲ環流シテ其ニ荒川

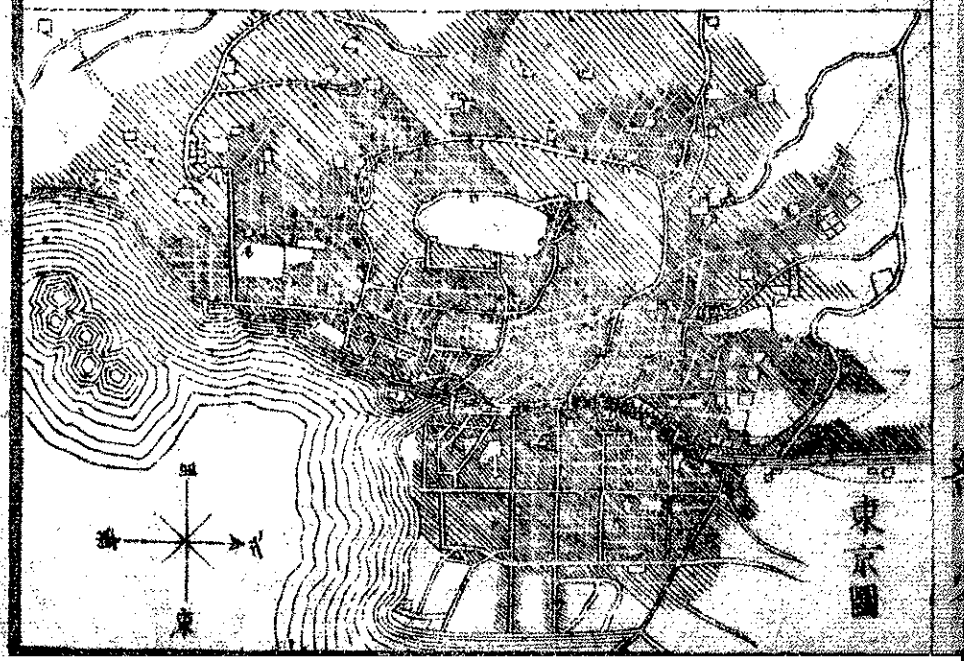
多摩川秩父山望圖



ニ入ル

荒川ヨリ東北ノ地モ亦平坦シテ窪下ノ地往々藪澤ヲナシ川道縱横ニシテ皆舟ヲ通ズベシ
其中中川綾瀬ノ二川最運漕ニ便ナリ
甘樂川ハ信濃ノ境ヨリ發シ上野ノ國境ヲ東流シテ利根川ニ入ル
利根川ハ別レテ兩派トナリ支流ハ南ニ赴キ内海ニ入ル此水ヲ以テ下總ノ境トセリ
東京ハ三府ノ一ニシテ内海ニ臨ミ隅田川ニ跨レバ大都ナリ徳川氏府ヲ此地ニ開キレヨ

リ以來二百七十年、稱
 シテ江戸城ト云フ、明
 治元年ニ至リテ、皇居
 ヲ定メ、東京ト稱ス、
 都ノ中央ヲ、日本橋ト
 ナス、街市ノ間ニ、溝渠
 ヲ疏シテ、海水ヲ導キ、
 運漕ニ便ニシ、橋ヲ架
 シ、路ヲ造リ、車馬ノ往
 來ヲ通ス、日本橋ノ南



ヲ、京橋トス、其東南ニ、五市場アリテ、外國ト貿
 易ス、コレヲ築地ト云ス、其東北ヲ、隅田川ノ海
 口トス、俗此川ヲ呼ビテ、大川ト云フ、架スルニ、
 六大橋永代橋、新大橋、兩國橋、千住大橋、大川橋、大橋、
 野等ヲ公園トシ、四民群遊ノ處ト定メ、多摩川
 及井頭ノ水ヲ引キテ、地底ニ水道ヲ通シ、街衢
 ノ間ニ井ヲ設ケ、コレヲ汲ミテ飲料トス、
 横濱ハ、五港ノ一ニシテ、羽田ノ南ニ在リ、海水
 灣入シテ、本牧岬、其東ニ突出ス、港内水深クシ
 テ、大艦巨船、常ニ輻湊ス、街衢壯麗、外國五市場

中、此地ヲ最盛ナリト
ス、

物産ハ、秋父絹、八王子織
物、玉川鮎、淺草海苔、苧、麻、
木綿、銅、石材、紫草、漆草、漆
器、陶器、鍋釜類、白魚、團扇、
錦繪等ナリ、

安房國

東南西ハ海ニ面シ、北ハ
上總ニ界ス、安房朝夷、長

橫濱港圖



狹平群ノ四郡アリ

全國山多クシテ、三面共ニ海ニ臨ミ、沿岸皆絶壁

ニシテ、海中岩礁多シ、

洲崎ハ、西南ニ突出セリ、岬角ナリ、相摸ト相對シ

テ、内海ノロフナス、

館山、勝山ノ二港ハ、内海ノ灣ニ在リテ、其最泊舟

ニ宜シキヲ、館山トハ、勝山ノ東ニ、富山アリテ、勝

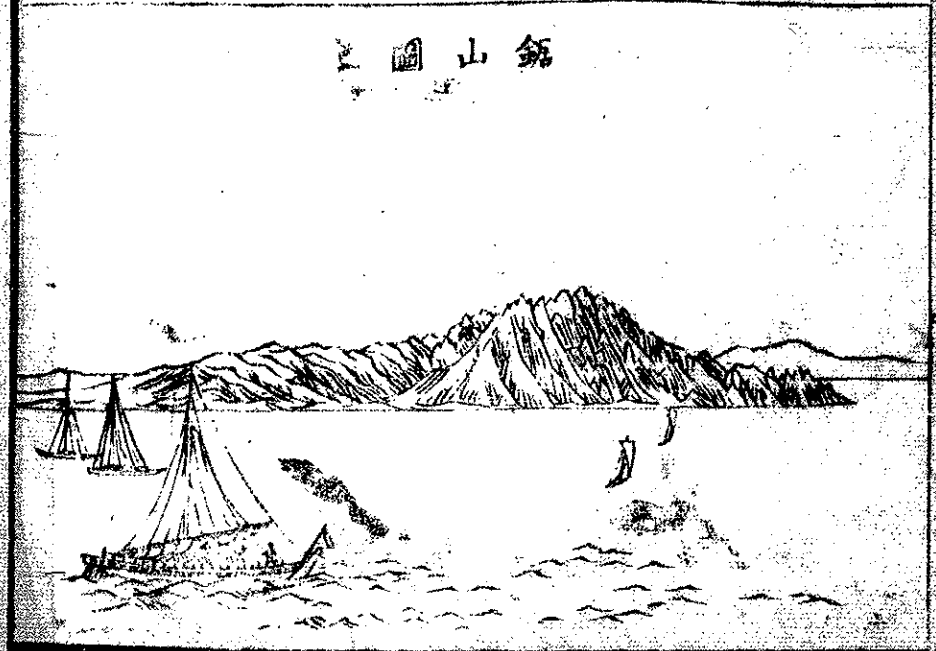
景ノ以テ著ハル、

鋸山ハ、内海ノ岸ニ聳エテ、上總ニ跨リ、峰形鋸齒

ノ如シ、故ニ此名アリ、

横根花立、清澄ノ諸山ハ、
 上總ノ境ニ連レリ、
 加茂川ハ、横根山ノ麓ヨ
 リ發シ、連山ニ沿ヒ、東流
 シテ、外海ニ入ル、
 湊川ハ、富山ノ陰ヨリ發
 シ、西流シテ、館山ノ港ニ
 注グ
 野島崎ハ、最南ノ岬ナリ、
 此ヨリ東ノ海上ヲ房州

館山圖

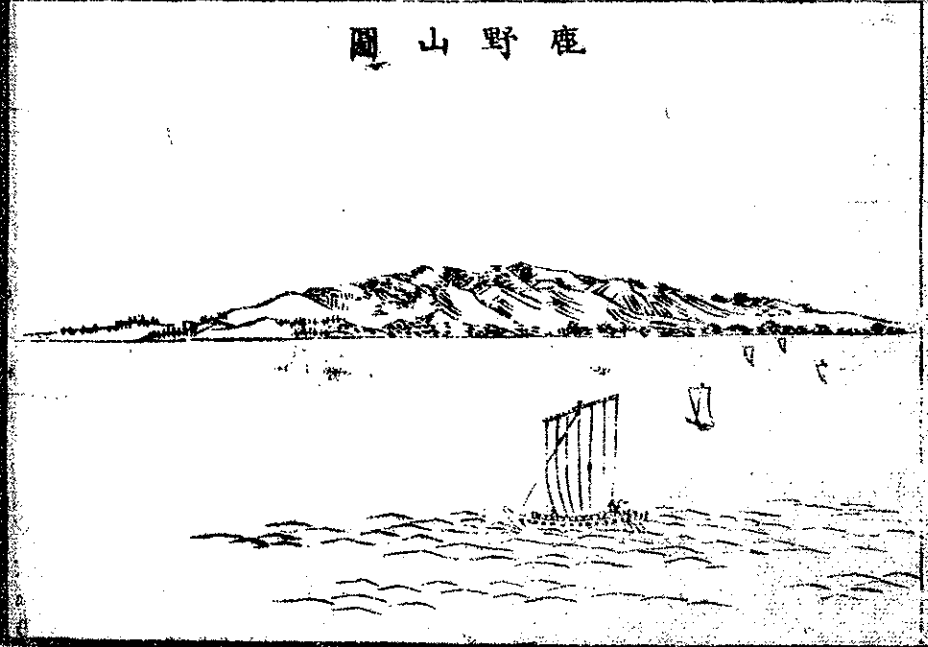


産ハ紫菜、水仙、木綿蠟、牡蠣、磨砂等ナリ、
 上總國

東南ハ外洋及安房ニ接シ、西北ハ、内海及下總ニ
 界ス、天羽、周准、望陀、夷隅、市原、埴生、長柄、山邊、武射
 ノ九郡アリ、
 地形、南ハ、山嶺相連リ、北ハ原野平行ニシテ、東西
 共ニ海ニ臨ミ、安房ト接レテ、一ノ半島ヲナス、
 鹿野山、高岩山ハ、内海ニ臨ミタル高山ニシテ、其
 後面ハ、山嶺重疊、安房ノ鋸山ニ連レリ、

大東崎ハ大洋ニ突出レ
 南ニ勝浦興津ノ二港
 アリ此崎ヨリ北ノ海濱
 九十九里ト云フ下總
 連リテ東大洋ニ面ハ
 此國ニ川流數條アリ共
 源ヲ安房ノ境ヨリ發
 ス大多喜川ハ東流シテ
 大東崎ノ南ニ注ギ養老

鹿野山圖



小櫃小糸ノ諸川ハ皆西流シテ内海ニ入ル
 富津洲ハ内海ニ斗出スルコト三里餘相模ノ觀
 音崎ト相對ス
 木更津五井ハ内海ノ濱ノ都會ニレテ舟楫ノ往
 來常ニ絶エズ
 物産ハ紅花茶海苔煙草木綿鯉等ナリ

下總國

東南ハ大洋及上總ニ接ビ西南ハ上野武藏及内
 海ニ連リ北ハ下野常陸ニ界ス葛飾相馬印旛千
 葉埴生香取匝瑿海上豐田岡田猿島結城ハ十二

郡アリ

全國平坦ニシテ山ナク、原野殊ニ多ク、日本第一ノ平地ナリ

小金原ハ、西境ニ亘リ、六方野ハ、南境ニ連ル、共ニ

廣漠ナル大野ナリ、小金原ハ、舊牧場ヲ設ケ、野馬

ヲ育セシガ、近來漸々開墾ノ事ニ從フ、

仰幡沼ハ、國ノ中央ニ在リ、屈曲數里ニ亘ル、其他

手賀沼、長沼等、共ニ大ナリ、諸沼ノ水皆北ニ流出

シテ、利根川ニ入ル、

利根川ハ、又坂東太郎ト稱ス、武藏上野ノ間ヨリ

來リ、關宿ニ至リテ、分レ

テ兩川トナリ、本流ハ東

下シテ、霞浦ノ下流ト會

レ、銚子港ノ口ニ注グ、ユ

レヲ常陸ノ境トス、支流

ハ、南ニ赴キ、武藏ノ境ニ

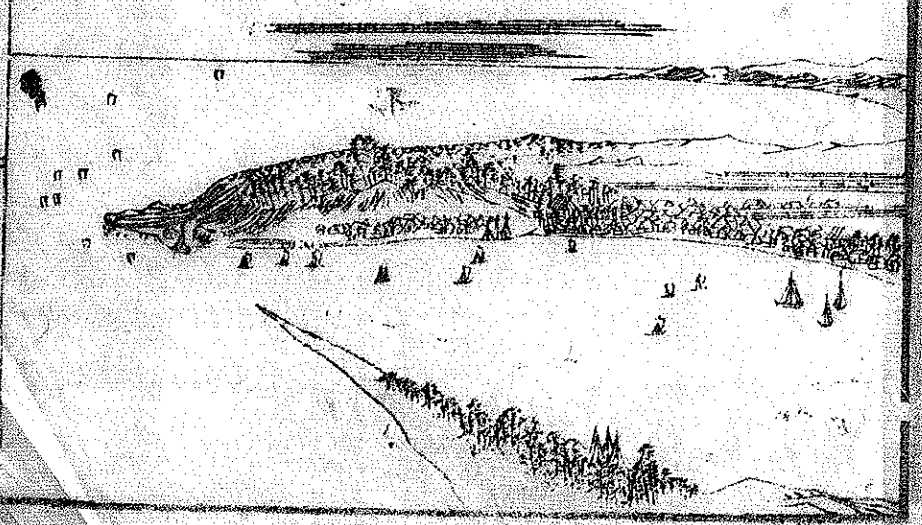
至リテ、行徳ヲ過ギ、内海

ニ入ル、

利根川ノ北、四郡利根郡、上野郡、武藏郡、猿島郡

城ノ地ハ、常陸下野ノ間

銚子口圖



ニ夾マリ、其境犬牙ノ如ク、相交リ、緬川、小貝川ハ、共ニ下野ヨリ来リ、環流分派レテ、各利根川ニ入ル、

銚子ハ、利根川ノ河口ニシテ、繁華ノ港ナリ、犬吠崎ハ、東洋ニ突出シ、銚子ノ口ヲ擁ス、岩礁波上ニ峙チテ、舟行甚難シ、南濱ハ、即九十九里ナリ、

物産ハ、馬、鯔、鮭、茶、西瓜、佐倉炭、結城紬、銚子縮、醬油、味噌、酒、行徳鹽等ナリ、

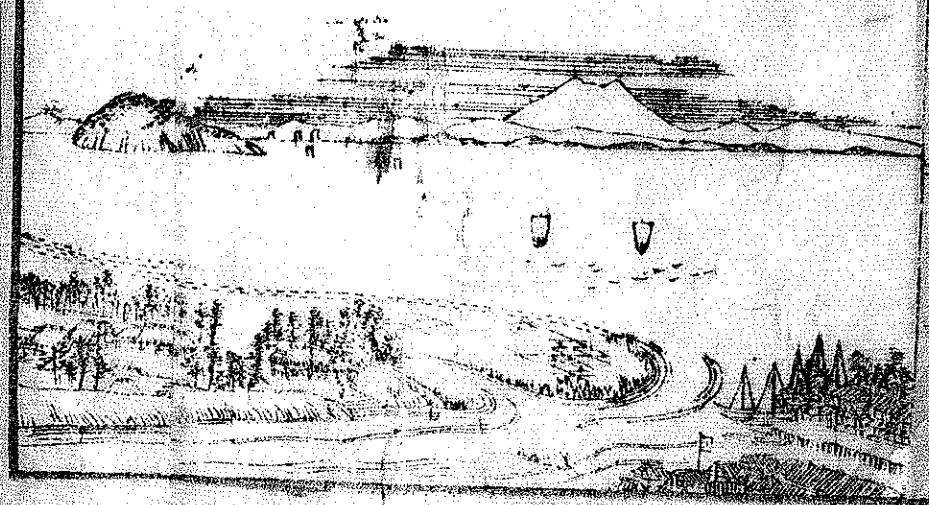
常陸國

東南ハ、大洋及下總ニ接レ、西北ハ、下野、磐城ニ界ス、久慈、多賀、茨城、龍島、行方、新治、筑波、真壁、信太、那珂、河内ノ十一郡アリ、國ノ北境ハ、山岳重疊レテ、西南ハ、平野遠ク下總ニ連レリ、

筑波山ハ、平野ノ間ニ突出レテ、國ノ中央ニ聳タリ、蘆穂加波ノ兩山、其北ニ竝峙ス、霞浦ハ、袤延十里、東方ノ大湖タリ、行方郡湖中ニ斗出レニ、西浦、北浦ヲ分ツ、其水ハ、南流レテ、利根川ニ入ル、此間ハ、支流縱横、平野ヲ畫ギ、潮来ノ

十六島即是ナリ、
 鹿島浦ハ東洋ハ面ヒテ
 北浦ヲ背ニス、其海濱北
 ニ亘リテ、那珂港ニ至ル、
 那珂川ハ下野ヨリ來リ、
 東流シテ、水戸ヲ過ギ、千
 波沼廣沼ノ水ヲ併セテ、
 海ニ入ル、河口ハ、即那珂
 湊ナリ、
 久慈川ハ磐城ヨリ來リ、

霞浦ヲ隔テ、茨波山ハ、關



彎流レテ、東ニ赴キ、太田ノ東ニ至リ、里川ヲ併セ
 テ、久慈浦ニ注グ、
 金砂月居ノ諸山ハ、久慈川里川ノ間ニ聳エタリ、
 其東ニ高鈴山アリテ、高ク峙テ、大洋ニ臨メリ、
 八溝山ハ、磐城下野ニ跨ル、大山ニシテ、連山其東
 ニ屏列シ、國境ヲ限レリ、
 烏子山ハ、下野ノ境ニ聳エル、高嶺ニシテ、山勢北
 ニ亘リ、八溝山ニ連ル、
 名古屋ハ、東北ノ界ニシテ、磐城ノ境ニ跨ル坂
 路ナリ、其關ハ磐城ニ屬シ、古來有名ノ所ナリ、

平瀨港ハ、鷗子崎ノ南ニ在リ、亦有名ノ港ナリト
 雖、港内甚狭ク、海船二三艘ヲ泊スルニ過ギ
 ズ、
 物産ハ、石炭、砥石、茶、桑、猪、鯉、鰻、煙草、紙、生糸、木綿
 銅器、漆器等ナリ、

日本地誌略卷之一終

今般諸書藉一層利口ニ往來ノ舟
 御入用ノ御方様、道筋ノ事、極シ
 難外相御下直ニ表事、山方、表、山、表、
 御用被仰度、奉頼上候也

書目藉書弘所

福岡縣下博多中場町

船木殖助